

「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について考えてみませんか？



アンコンシャス・バイアス  
（無意識バイアス）とは？  
（デジタル大辞林）

「人が無意識に持っている、  
偏見や思い込み。経験則に  
よって、気づかないうちに身  
につけたもので、本人が意識  
しないところで、行動や意思  
決定に影響を与える。無意識  
の偏見。」

月  
日  
( )  
日

ある事柄について「これは男性がすること」、「これは女性がすること」というイメージを抱いていることはありませんか？

このような「無意識の思い込み」というものがアンコンシャス・バイアスの特徴であり、それ自体は良い悪いといった判断をされるべきものではありません。

しかし、アンコンシャス・バイアスに起因する発言や行動によって、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまったりする等、様々な影響があります。

これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、「普通はこうだ」「こうあるべきだ」等と思うことはよくあることです。しかし、それが思い込み、偏見であることについては、なかなか自分では気づきにくいものです。

アンコンシャス・バイアスを解消するには、「決めつけない、押し付けない」ことが重要です。

## 身近な偏見・思い込みの例

- ・家事・育児は女性がするべきだ
- ・男性が洗濯物を干すのはみっともない
- ・女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い
- ・共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ
- ・女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない
- ・自治会や町内会の重要な役職は男性が担うべきだ
- ・事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ
- ・組織のリーダーは男性の方が向いている
- ・男性は出産休暇／育児休業を取るべきでない
- ・受付、接客・応対（お茶だしなど）、事務職、保育士というと女性を思い浮かべる
- ・同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ
- ・女性は感情的になりやすい
- ・男性より女性の方が思いやりがある
- ・パートタイマーは「主婦が家計補助のために働いている」というイメージがある
- ・DV（ドメスティック・バイオレンス）と聞くと男性が暴力を働いていると想像する（女性を想像しない）



アンコンシャス・バイアスを解消するのは簡単なことではありません。  
なぜなら日常生活のなかで抱いている無意識の差別や偏見に自ら気が  
つき、意識化する必要があるからです。

すぐに全てを意識することや、すぐに全てのバイアスに気づくことは  
不可能ですが、少し立ち止まって普段の言動を顧みることによって、気づきは  
増えていきます。

そういったことが、真の多様性ある職場への第一歩であり、ジェン  
ダー格差を埋めていくために必要な視点となります。



# アンコンシャス・バイアスに向き合い続けることで「可能性がひろがる」

例えば

- ダイバーシティ & インクルージョンの推進につながる
- ジェンダー平等の推進につながる
- キャリアにおける可能性が広がる
- コミュニケーションのズレをふせぐ  
(上司⇔部下、対お客様、保護者⇔子、教員⇔児童・生徒、パートナー関係等)
- 人権侵害の防止、ハラスメントの防止につながる
- コンプライアンス違反の防止につながる
- 新しい視点・商品がうまれる等、イノベーションにつながる
- 広告・商品名などの炎上をふせぐ
- 安全衛生の向上につながる
- 医療過誤をふせぐ
- がん治療と就労における課題解決につながる
- 防災・減災につながる
- 「子どもたち」の未来の可能性が広がる など

## ◆ひとりひとりがイキイキと活躍するために

「100人が同じでも、101人目は違うかもしれません」

「100回の結果が同じでも、101回目は違うかもしれません」

「過去と、今と、未来とでは違うかもしれません」

“わたし”も含めたひとり一人がイキイキとする社会をめざして、

**「これって、私のアンコンシャス・バイアス？」**

**「これって、アンコン？」**

が合言葉となり、ひとりひとりその時々と向き合うことを大切に  
にしていく。

そんな社会に一步でも、二歩でも近づいていきましょう。